

e-ラーニング動画一覧

カリキュラムコード	到達目標	e-ラーニングの概要 (WGで作成した構成案)	演者・登壇者	所属	2024年3月末
参画-1 興味	患者・市民参画のモチベーションを高める。	患者・市民参画の様々な取り組みについての語りの動画を通して、患者・市民の役割について理解する。 【座談会形式】	司会：渡邊清高先生 登壇者：有賀悦子先生 桜井なおみ氏 (発言順)	帝京大学医学部内科学講座 病院教授 帝京大学医学部緩和医療学講座 教授 キャンサーソリューションズ株式会社 代表取締役社長	公開済み
参画-2 参画チャレンジと意見交換	患者・市民の参画にチャレンジし、建設的な意見交換ができる。	参画にあたり守ること（発言マナー、時間を守る、適切なメンバーに報告・相談を行う、研究内容の守秘など）。コミュニケーションスキルの重要性。 【座談会形式】	司会：渡邊清高先生 登壇者：有賀悦子先生 桜井なおみ氏 天野慎介氏 樋口麻衣子氏 片野田耕太先生 片山佳代子先生 (発言順)	帝京大学医学部内科学講座 病院教授 帝京大学医学部緩和医療学講座 教授 キャンサーソリューションズ株式会社 代表取締役社長 全国がん患者団体連合会 理事長 AYAがんの医療と支援のあり方研究会 理事 国立がん研究センターがん対策研究所 部長 群馬大学情報学部 准教授	公開済み
がん-1 腫瘍学	がん（腫瘍学）について、自らのペースで知識を深めていくことができる	がんについて知識を深める（診断・治療・主な研究・トピックス） 【講義形式】	【肺がん】 佐々木治一郎先生	北里大学医学部 新世紀医療開発センター 教授	提出待ち
			【乳がん】 佐治重衡先生	福島県立医科大学医学部 腫瘍内科学講座 主任教授	準備中
			【胃がん】 寺島雅典先生	静岡県立静岡がんセンター 副院長	準備中
			【希少がん】 川井章先生	国立がん研究センター中央病院 希少がんセンター長	準備中
			【高齢者とがん】 田村和夫先生	福岡大学 名誉教授	準備中
			【AYA世代とがん】 清水千佳子先生	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 がん総合診療センター センター長	準備中
がん-2 社会医学	がんに関する社会医学について、自らのペースで知識を深めていくことができる。	がんに関する社会医学について知識を深める（予防・検診・サバイバーシップなど） 【講義形式】	【がん予防】 井上真奈美先生	国立がん研究センター がん対策研究所 副所長	準備中
			【がん検診】 中山富雄先生	国立がん研究センター がん対策研究所検診研究部 部長	準備中
			【サバイバーシップ】 高橋部先生	NPO法人日本がんが「バ・ツア」ネットワーク 代表理事	準備中
			【がんと社会】 後藤勸先生	慶応義塾大学大学院 経営管理研究科 教授	提出待ち
研究-1 なぜ研究が必要なのか	なぜ研究が必要なのか？ 研究という営みについて理解する。	研究の進歩により、医療がどう変わるか。具体的な事例（治療開発・支持医療・社会学的研究・サバイバーシップなど） 【座談会形式】	司会：有賀悦子先生 登壇者：渡邊清高先生 片山佳代子先生 桜井なおみ氏 天野慎介氏 樋口麻衣子氏 片野田耕太先生 (発言順)	帝京大学医学部緩和医療学講座 教授 帝京大学医学部内科学講座 病院教授 群馬大学情報学部 准教授 キャンサーソリューションズ株式会社 代表取締役社長 全国がん患者団体連合会 理事長 AYAがんの医療と支援のあり方研究会 理事 国立がん研究センターがん対策研究所 部長	公開済み
研究-2 アウトラインと計画	研究を遂行するための研究構造（アウトライン）を理解し、研究計画がどのように立案されるのかを理解する。	治療開発フェーズの目的と課題、ブルーオプコンセンツのタイミング、立案に要する費用総額など、デジタル医療機器やプログラム承認と薬剤との違い 研究計画書の構成 【講義形式】	【研究計画書の見方】 片山佳代子先生	群馬大学 情報学部 准教授	準備中
			【治療開発の実際】 佐々木治一郎先生	北里大学医学部 新世紀医療開発センター 教授	提出待ち
研究-3 研究方法とデザイン	研究方法とデザインについて質問できる。	観察研究（社会医学研究）、代表的な研究方法・研究計画・PICO/PECOなどの解説、レイサマリー ・研究計画書、研究倫理委員会審査文書、研究費獲得文書などでと登場する主な用語の解説 【講義形式】	【研究計画書の見方】 片山佳代子先生	群馬大学 情報学部 准教授	準備中
			【治療開発の実際】 佐々木治一郎先生	北里大学医学部 新世紀医療開発センター 教授	提出待ち
研究-4 データ管理と公表	研究データ安全管理と研究成果の公表と活用について理解する	・研究データの管理、成果の公表と活用、レイサマリー ・守秘義務や個人情報保護への対応など 【講義形式】	佐野裕亮先生	国立がん研究センター中央病院 臨床研究支援部門	準備中
統計-1 統計用語	医療統計の言葉に触れる体験をしよう。	実際の論文や研究をモデルに統計用語を解説していただくとありがたいです。 バイアス、有意差、オッズ比/リスク比/ハザード比など 【講義形式】	柴田大朗先生	国立がん研究センター 研究支援センター 生物統計部長	準備中
EB-1 科学的根拠とガイドライン	がん研究で得られた科学的根拠がガイドライン等を通してどのように意思決定に用いられるか知ろう。	科学的根拠（EBM）の用語説明、ガイドラインの目的、臨床疑問、推奨などの構造 ガイドライン作成への患者市民参画 臨床現場でのガイドライン活用例など 【講義形式】	片野田耕太先生	国立がん研究センター がん対策研究所 部長	準備中
EB-2 情報リテラシー	確かな情報を見分けよう。 情報リテラシーの重要性を知ろう。	情報の確からしさを高める方法、臨床試験情報の探し方や教育研修の紹介 主な論文の種類 【講義形式】	渡邊清高先生	帝京大学医学部内科学講座 教授	準備中
EL-1 がん医療の倫理	医療倫理・研究倫理、利益相反、個人情報保護について学ぶ。	医療倫理・研究倫理・インフォームドコンセントの説明 被検者（臨床研究）や動物（基礎研究）の保護、被検者の利益、不利益 利益相反、個人情報保護の基本的な事項など 【講義形式】	田代志門先生	東北大学大学院文学研究科 総合人間学専攻 社会人間学講座 准教授	準備中
EL-2 がん医療の関連法規	その時代の最新のものを学ぶ。 がん対策基本法、薬機法、がん登録推進法、健康保険法（診療報酬、保険適応内外）、介護保険法、臨床研究法、倫理指針、健康増進法、労働安全衛生法、公的医療保険制度、高額医療費制度、患者申出医療制度等	主にごがん研究（研究開発/社会学的研究）に関連した解説、ゲノム医療法・個人情報保護法など	松田智大先生	国立がん研究センター がん対策研究所 国際政策研究部 部長	準備中

準備中：査読後校了し、公開準備中（字幕、最終確認）

※理解度確認クイズとプログラム評価アンケートは、動画公開辞意同時公開